

国際医療支援室

室長 海老澤 健太

国際医療支援室 業務範囲

1. JCI認証プロジェクト

JCI (Joint Commission International)とは、患者の安全と高品質な医療、更には継続的な品質改善が医療機関で行われることを目的として作られた世界基準（スタンダード）を基に世界各国の医療機関を認証し、世界の医療レベルの向上をミッションとして運営されている組織である。JCIは3年に一度の再審査があり、更新を重ねる度に審査の難易度は上がっていくためまさに継続的な改善が必要となる。評価基準（スタンダード）も同様に3年に一度更新されるため、審査をクリア出来るよう準備が必要となる。審査期間（通常は5日間）だけでなく、1年前からのカルテ記載やその他様々な記録物が審査対象となるので、審査期間だけを繕ってクリア出来るような「甘い」対応は出来ない。よって、常にJCIスタンダードの要求事項が実行出来ているかどうかのギャップ（問題）を特定し、データ収集・分析、計画立案、教育、改善、評価という改善サイクルの実行が必要となる。また、約1,600人に及ぶ職員（非常勤・契約業者を含む）に対しての情報共有も当然必要となるので、定期的な委員会開催にて情報共有を行う。

2. 外国人患者受入れ

（インバウンド・イントラバウンド）

徳洲会グループの「生命だけは平等だ」という理念に基づき、国内在住及び海外在住の外国人の受入れを行う。その際、患者が持っている障壁（言語・宗教）を除去出来るようサポートを行う。また、医療滞在ビザの手配、来日から帰国までのコーディネートも行う。2020年の東京オリンピック時の対応や病院経営上の新規マーケット開拓という観点も含んでいる。

3. 院内通訳・翻訳業務

英語・中国語・フランス語・ロシア語の通訳、翻訳業務を行う。院内にて対応可能言語以外の通訳、翻訳が必要となった際は外部へ委託、もしくは指差し会話帳やiPad等コミュニケーションサポートツールを活用する。

4. JMIP認証プロジェクト

JMIP (Japan Medical Service Accreditation for International Patients)とは、日本語の名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度であり、厚生労働省が外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証する制度である。3年ごとの更新となるため、外国人患者の受入れのプロセス及び事例を検討し、問題点を改善する場として国際医療委員会を開催する。

5. 海外からの研修者や来客対応 ※外国人医療従事者の見学及び修練医師受入れを含む

徳洲会グループで進めている海外プロジェクト、主に病院建設やアフリカの透析センターの建設プロジェクトの中心となるスタッフの研修を受け入れる際の調整業務を行う。また、見学者や臨床修練を希望する外国人医師の受入れの書類申請・ビザ取得・住居手配・言語対応・スケジュールリング等のサポートを行う。

6. ハラル認証

ムスリムの方へ安心した食事が提供出来るよう日本イスラム文化センターよりハラル認証を取得した。

7. 文書管理委員会

院内で定めている各種方針手順の管理・改訂及びポケットガイドの改訂を行う。